

平成17年

9月

No. 503



広報

いいたて

<http://www.vill.iitate.fukushima.jp>



## 色とりどりの浴衣で華やかに —浴衣コンテスト—

8月14日と16日、飯樋町地区内で「第15回飯樋流し盆踊り大会」が行われ、沿道や櫓の周りには多くの地区住民や帰省客らが詰めかけました。

14日に行われた「浴衣コンテスト」には、団体や個人など合わせて56組が出場、華やかな盆踊りとなりました。(関連記事 8 ページ)





# わたしたち、ぼくたちの 共同生活体験記

平成17年度版

親のありがたみが分かる「いいたて合宿通学」

子どもたちが親元を離れ、仲間たちと生活する「親のありがたみがわかる合宿通学」が今年も行われ、村内3つの小学校からそれぞれ参加した子どもたちが、8泊9日の共同生活を行いました。

今年の合宿通学には、草野小から18人、白石小から13人、飯樋小から21人が参加。合宿通学中は、深谷地区にある「やすらぎ」に泊まり、食事の準備や掃除、洗濯等を全て自分たちで毎日行いながら学校に通いました。

また、期間中は英語や介護料理教室、星空観察、レクリエーションなど様々な活動も行ないました。今年のリーダー役は、高山晴美さん(草野)が担当、子どもたちの生活と思い出づくりに協力していただきました。

今回は、参加した子どもたちとリーダーから寄せられた感想文をご紹介します。

## 草野小学校



6年 松下 結衣

私が合宿通学で楽しかった事は二つあります。

一つ目は、班のみんなと食事を作った事です。火曜日は、焼き魚とみそ汁とご飯を作りました。材料を細かく切るのが難しかったけど、上手に作れました。土曜日はカレーを作りました。玉ネギを切る時に目が痛くなり涙が出てきたけど、おいしく作れて良かったです。二つ目は、スネークパンとバター作りです。スネークパンは、生地をみ

んなでこねました。木の棒に生地を巻き、焼いてバターをぬって食べました。おいしかったです。私は、この合宿通学に参加して色々な事を学びました。最上級生としての責任感、そして親のありがたみ。本当に最高の思い出になりました。

6年 佐藤 凌

最後の合宿通学だったので、ぼくは下級生のお世話もがんばろうと思いました。

合宿通学の思い出はたくさんあります。

一つ目は、お寺で坐禅をしたことです。足が痛くなったけど、良い思い出になりました。

二つ目が、料理を教えてもらったことです。豚のしょうが焼きや蒸しパンなどの作り方を教わりました。

三つ目が、フラダンスを教わったことです。みんなで楽しくおどるこ

## 飯樋小学校



6年 須藤 拓真

ぼくは今年、合宿通学に初めて参加しました。調理班、洗濯班、食事手伝い班、掃除班があり、

ができました。

たくさん楽しい思い出ができましたが、洗たくや食事のしたくなど、ふだんはお母さんにまかせている事を自分でやる、とても大変でした。

3回目の合宿通学。全部ちゃんときたとは言えないけど、すすんで仕事をする事ができました。

毎回こうかんしていきます。この一つ一つの仕事に「いつもこんな大変なことをやっているのか」と思い、親のありがたみが分かりました。合宿通学で特におもしろかったのが星空観察で、本物のいん石や化石をさわったりしました。ぼくは6年生で、行けるのは最後ですが、他の人も4年生から参加してもらいたいと思います。合宿通学に参加してよかったです。いつもやっている親の仕事が、大変だということ分かりました。この合宿通学をいかしてぜひ家でもやってみてほしいと思います。

4年 高橋 明仁

ぼくは四年生、合宿通学は初めてでした。一週間が短いような長いような感じがしました。

料理を作る時、玉ネギでなみだが出てきました。ティッシュを鼻につっこ

## 白石小学校



5年 浦住 実里

6月25日、合宿通学の

んで、ラップを目につけてみました。名づけて「玉ネギぼくはマシーン」です。見た目はかっこ悪いけど、ききました。大成功！せんたくは、ものすごく多くて2回か3回に分けてやらないうでできません。お母さんはこんなに苦労しているんだと分かりました。ねぶそくで学校でいっぱいあくびをしました。お母さんもねぶそくなのかなあ。

始まりです。最初はすごく楽しくて、みんなで生活するのいいなと思っていましたが、だんだんなれてくると楽しいよりも、つかれる方が多くなってきました。

合宿通学で学んだことはいっぱいあります。

一つ目は、お父さん、お母さんの「大切さ」です。いつも食事やせんたくをしてくれるお母さん。これからは、自分の決めた手伝いはもちろん、合宿通学で学んだ、せんたくやそうじ、食事の準備も手伝っていきなりたいと思います。やっぱり自分の事を自分でやるのはとても大変です。けれど、それはとても大切だと知り、また、やりとげるといつものも大事だなと思いました。

今回は、例年よりも「親の大切さ」、また、「自分がどれだけ幸せか」など色々な事を学べた気がします。

4年 林 優

合宿通学の初日、やすらぎに行ったら、合宿通学の始まりの式をやりました。夜は自習で、みんな一日の事を紙に書きました。お風呂は水風呂もあり、熱い時は水風呂に入って、寒い時は普通のお風呂に入りました。

ぼくが一番楽しかったのは、せんたくです。最初はイヤイヤやっていたけれど、だんだん慣れてきて、せんたくが好きになりました。

いつも親が色々な事をやってくれている事が分かったので、ぼくもできるだけ手伝いをしたいです。合宿通学にまた参加したいです。

## リーダー

高山 晴美

緑多い飯館にも梅雨が始まり、私の合宿通学も始まりました。年齢差があるせいか、

初日から苦のスタートでした。子供たちの途中帰宅の心配より、自分のリタイアの方が不安でしたが、負けん気を持って頑張りました。よく泣く子、動かない子、よく食べる子、反発する子、兄弟のように仲の良い子など、色々な子供たちがいました。今も昔も変わらぬ飯館のやさしく、活発で協力がある資質は、全ての子供たちがもっていました。子供たちが合宿通学で学んだ事、その一つでも心に忘れず置いておくことが大切だと思います。無理に形にして出さなくても、いつか自然に手伝いや親へのやさしい言葉などが出てくるはず

です。これからも自由にはばたけ、飯館の子供たち。それぞれの子供たち、素晴らしい姿でした。27日間の日々をありがとう。